

■ 平成24年度 町政懇談会 いきいき・ふれあいトーク 意見交換の主な内容

No	参加者の意見・質問・要望・提案の要旨	町からの回答・意見の要旨 (※後日の回答及び対応を追記しています)
<p>5月28日 いきいき福祉・ボランティアふれあいトーク 35名参加 (すこやか健康センター)</p>		
1	<p>・入浴割引券について。 お風呂が壊れて修理するとき、直すまでのあいだ、入浴券を出してもらえないのか。先日、生活保護と年金で生活している人が、町民課に聞きに行ったらだめだと言われた。 なおして入れと言われても、なおすお金もない場合はどうするのか。直すまでの間、臨機応変に認めてはどうか。</p>	<p>・制度があるので、町長の権限でいいというわけにはいかないが、担当課に連絡します。 (※担当課、質問者に下記の通り直接回答、対応済。 原則として、現行制度ではその家庭に入浴施設がある場合は対象外としており、今後も現行制度により対応します。対象拡大については今後の検討課題とします)</p>
2	<p>・福祉推進委員について、 役場の制度ではないが、制度はあるのに年に1回しか集まる機会がない。年に1回、町内に一人暮らしの人がいるかいないかの調査だけの委員になっている。いかしきれていないのはどうかなと思う。生かすような工夫をしてほしい。もっと活用するのが行政と思う。 ・(参加者:社会福祉協議会関係者) 各町内会で福祉を担当し、社会福祉協議会との窓口となるのが福祉推進委員です。しかし、まだまだ各町内会の理解が深まっていない実情があります。町内会は任意団体ですが、社会福祉協議会が中心となって町内会の連合会組織を立ち上げることができないか検討しています。地域住民が自ら動く地域福祉。非常に難しいが、行政の指導も仰ぎながら、進めていきたいと思っています。 特に、行政でできない部分がたくさんあるから、行政やサービスの目のいき届かないところを地域の方々とやっていきたいと考えています。</p>	<p>・社会福祉協議会と互いに相談しながら、いい方向にもっていききたい。 今の社会状況の中、行政も社会福祉協議会も入っていけない部分がある。難しい部分はたくさんある。そこは、行政も町内会も社会福祉協議会も一緒に協力しながら、相談しながらやっていかななくてはならないと思っています。</p>
3	<p>(社会福祉協議会参加者から) ・「はいかい高齢者SOSネットワーク」の関係でお願い。 搜索の際、どこを回るのか、なにも指示がなく、結局やみくもに動いた。それではほかの団体と重複してしまう。可能であれば、団体はあらかじめ担当地域を決めてはどうか。組織的に区域の割り当てなど決めたほうが効率的と思う。割り振りしてもらえると、より早く動けるので、よろしくをお願いします。</p>	<p>・各団体で迅速に動きやすいように、そのような動きでやっていこうと考えています。今後、全体的に相談しながら、みんなで回れるようにやっていきたい。</p>
4	<p>【福祉バスとまちづくりについて】 (ボランティアセンター関係者から) ①福祉バス、これからも使い勝手がいいようなかたちで貸していただきたい。今後是非制度を続けてほしい。 ②町外の方々に対し、羽幌のイメージ、インパクトがない。 行く場所がない。サンセットビーチも以前はよかったがヤシの木照明も今はさみしい。しょうぶ園も前はすばらしかったが、さみしい。どうにかならぬのか。バラ園はいいが、、、高台とかもなにかイメージアップになるものできないのか。 そこに、私達ボランティアの手でできることがあれば一緒に協力してやっていきたい。なにかできないかなと思っています。</p>	<p>・しょうぶ園は、あまり手をいれていない状況だが、まだ看板はおろしていない。看板がある以上 見に行く人がいるのだから、手をかけないのもおかしい。 ・羽幌のイメージアップ、景観も含めて、ボランティアも一緒にやっていこうというご意見、これが協働と思う。 ・行政で気がつかないこともたくさんあるのでご意見はいただきたい。中途半端が一番よくないと思うので、指摘事項として聞いておきたいと思います。</p>
5	<p>【独居老人の雪かきについて】 ・独居老人で具合が悪くて雪かきができない人などは、どこに言えばいいのか。 ・独居の人は役場でわかるんだから、役場から「こういう制度があるから利用しませんか」って言うべきではないのか。 ・民生委員もそういう役割をもっている。独居老人の雪かき支援の制度、必要な人がいないかって声をかけて歩くことになってる、福祉推進委員だってそう。それでもこういう話になる。 やっぱりみんなの意識が大切。ボランティアの心をもって、盛り上げることが大切。そこに行政の力も加わるといい。そうしていくことで、点と点がつながっていく。 昔は家族が多かったからコミュニケーションも多かった。今は核家族だから回りの者も声をかけていかないとならない。 あんまりおせっかいも困るが、やっぱり、誰かが声をかけないと。声をかけないとやりたくてもできない人もいる。</p>	<p>・独居老人については、基本的に福祉課でやっている。町内に家族がいなくて、身体が悪くて自分でできない場合は制度があるので、申込をいただければと思う。 ・回覧や、インターネットや広報で回しても、見ない人は見ない。独居で閉じこもりになっていたら、いろいろなことを知ろうとしないし、中には必要ないと拒否する人もいる。 行政として周知しなくてはならないが、そこは、誰かが「こうだよ」って声をかけてあげることも大切。周りがそういう気持ちを持つことを心がけなくてはならない。それは行政もおなじ。</p>

6	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の子ども、あいさつをしない。今は知らない人に声をかけてはいけないという時代になってきたのか。 ・最近ではよくなってる。声をかけ続けると、むこうからあいさつしてくる。 ・交通安全で立っていてもみんな声かけてくる。よくなっている評判はいい。 <p>(参加者:小学校関係者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時期不審者の問題があったときはそういう指導もあったが、今は、知ってても知らなくても町の中の人にはあいさつをしろという指導が変わっています。声をかけるよう指導はしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それでもまけないであいさつするほうがいい。最近ではよくなっていると聞く
7	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道普及率は何パーセントを目指しているんですか？ ・町営住宅とかはどうなっているんですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今52.5%ですが、平成28年度くらいまでに70パーセントくらいまでにあげないといけない。苫前町と羽幌町で普及率をあげないといけない。 ・今、各町内や、団体で説明会をしています。この後、順次接続していないご家庭に家庭訪問もしていく予定ですのでご協力をお願いします。・合併浄化槽にした人にもつないでほしい。 一部、これから取り壊しとかになる予定のところは整備の予定はない。いっぺんにとはいかないが、計画により順次接続している。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿処理場が使えなくなるんですよね。取り壊しになるとか聞きました。あと何年くらいもつんですか？ ・まだ使えると思ってる人が多い。そんなせっぱつまった感じは町民に伝わってない ・水洗にしていない人は、し尿施設がまだ使えると思って安易に考えている。何年後には使えなくなるとPRしないとけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域し尿処理場は、老朽化により平成12年から10年間の延命措置を施したが、既にその期間も経過し、いつ使用不能となってもおかしくない状況となっており、一日も早い取り組みを急いでいます。 ・羽幌、苫前、初山別の中部3町村では、羽幌の下水処理施設で一括処理出来る施設を整備することで事務を進めているが、国の補助を受ける為には、下水道の接続率の向上が必要不可欠です。・今後、下水道に未接続の世帯への戸別訪問等などを行い理解を求めて行く予定ですので、ご協力をお願いします。
9	<p>【ボランティア協議会の活動拠点施設について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、ボランティア協議会は23団体1460人を組織している。活動の拠点となる場所がほしい。 いつでも、そこに誰でもやって来て、誰でも一緒に連れてこれる、つどいの場みたいな拠点がほしい。 今、悠・悠クラブで、公民館の談話室を週1回借りている。そこで、いろんな各団体の方がきて打ち合わせをしたりして使っているが、もっと広い場で常時使える場を考慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧・希望の家」が空いているがかなり古いし、手をかけないと使えない。修理にも経費がかかる。ほかの場所も考えながら、検討していきたいと思います。
<p align="center">6月27日 いきいきスポーツ・ふれあいトーク 8名参加（総合体育館パワデール）</p>		
10	<ul style="list-style-type: none"> ・武道館がボロボロの状態。元ボーリング場のため、床が堅く、特に小さい子に足の負担がかかる。床のガタガタもかなりひどい。なんとか補修できないか。 ・全部取り替えてほしいが、高額になるのであれば、新しい建物も検討してほしい。 総合体育館建設時にも「小体育室」の要望が剣道連盟からあつたはず。大きな大会などの際、準備運動も必要。総合体育館の利用が伸びている中、小体育室設置は更に利用価値が出ると思う。 ・柔道や格闘、弓道もあり利用は伸びている。格闘クラブは30名くらいいる。武道館では足りずに、総合体育館にも来て使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況は把握しているが、張替えとなるとかなりの金額がかかる。 ・建物全体を直すには、いろいろな課題がのしかかってくる。今後施設をどうしていくのかを見直しをしていかななくてはならない時期にきている。床だけでもということを含め、全体計画の中で見直しをしていかななくてはと思っています。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団で町のバス、年に3回しか使えない。全部で6団体あるのに年に3回しか使えないと聞いた。せめて、1団体で年1回使えるようにできないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年まではそうだったが、昨年からは1団体で年に1回使えるようになってきている。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・今年から学校の体育授業で剣道が取り入れられるが、竹刀などの安全面は大丈夫か？ 面になにかかぶせるとか、竹刀をカーボンにするとかもあると聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道の導入は、学校とそれぞれ保護者と相談の上決めた。道具はこれから授業に支障のないよう配置していく。 ・安全面では特に柔道で言われているが、剣道においても充分、安全に配慮した授業が展開されることと思う。指導者の意見では時間数から言うと、初歩的動作の導入のみになると思うので、打ち合いとかにはならないと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビで強化プラスチックの面など紹介されていた。ああいうのなら大丈夫じゃないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具についてはこれから購入する。学校側ともよく話し合い、金銭的なこともあるので、これから検討したい。

13	・指導者は誰がやるのか	・羽幌は体育教師を予定している。経験者もいるということなので、間に合わなければ外部講師をとということになるが、今のところは学校の体制の中で対応する。 ・天売、焼尻については、駐在さんとか、道警からの申し出もあるので、場合によっては外部講師としてお願いしながら対応することになる。
14	・去年、テニスコートのところのトイレを水洗にしたが、スポーツ公園のトイレはどうか？	・さわやかトイレは下水道がいないので浄化槽になっている。
15	・ スポーツ公園全体 をどうしていくか。 ・陸上競技場はトラックとフィールドに草が生えて境目がない状態。 土の入れ替えは難しいと思うが、できれば、雑草の処理をなんとかしていただければと思う。 ・以前、サッカー大会のために、陸上のピット、高飛びなど競技場の外に持って行ってしまい、全部芝が張られた。高飛びや砲丸投げ、槍投げなどができない状態になっているので、そのへんの整備もしてほしい。	・陸上競技場は、高校の練習場のような変化をしている。町が積極的に芝生を利用してサッカーなどをという時代もあったので、シフトが変わってきている
	・少子化で、野球やサッカーなど大規模スポーツでなく小規模スポーツになっていくことが考えられる。そうすると卓球や陸上やバドミントンなどになる。そういうことを含め、公園全体をどうふうにしていくのがいいか考えてほしい。	・スポーツをやるからにはいい環境でやっていただきたいが、スポーツ公園全体としては多目的施設としての利用になる。陸上競技場でありながら、チビッコ野球の練習場に様変わりすることもある。すべてがいい状態ではないかもしれない。
16	・総合体育館で全道や管内大会など大規模の大会やるときに、ほとんどの団体はバスで来るが、体育館に バスの駐車場 がない。リバーサイドの空き地を駐車場用地として利用しているが、前の日に雨など降ると、ぬかるんで駐車場にならない。路上駐車は朝日団地などからも苦情が来る。苦情で一番多いのが駐車場がぬかるむということ。	・大会やイベントの際の大型バスの駐車場について、活用するスペースが他にないかを含めて検討したい。
17	・ ゲートボール は、管内大会が年に3回あるが、中部の開催はどうしても中間地点の羽幌になる。造成した3コートが傾斜になっていて、傾斜があるからとみんなに敬遠される。できれば、土を入れて整地してほしい。 練習も1日に2～30名が集まっているが、どうしても「3コートに行きたくない」という声がある。	・現地を見に行ってから検討します。 (※ 後日現地を確認。町で土を提供することし、整地は使用団体のゲートボール連合が対応することで了解を得た)
18	・ パークゴルフの協力金 のことは、団体との話し合いなどでどうにかならないのか。だいぶ減額しているようだが、、、。	・本年度、パークゴルフ愛好会の総会に行き、協力金を各自、自分で入れてください。愛好会で入れているから、各自はいれなくてもいいということではないと言い、協力をお願いしています。
	・モラルの問題でしょう。	初80万円ほどの協力金が、今は20万に満たない。利用者人数は減っていないが協力金は減っている。健康づくりに利用してもらうのはいいが、、、。ぜひ、協力いただきたい。
19	・ 小学校体育館 の少年団の利用は、以前は日曜祝日は利用できないと聞いたが、かなり頻繁に使っている団体もあると聞か、、、、。	土日は開放していないと思うが、やっているのであれば、学校の先生の管理下にあるものと思う。適切な管理をされるよう学校と確認をします。 (※ 後日学校と確認済。大会などでの土日開催を除き、学校において適切な管理が行われていると確認)
20	・怪我をし際、 スポーツ障害保険 の手続きを体育館できなくて、公民館でやると言われた。加入は体育館でやってるんだから、怪我をしたときの対応もしてほしい。	・体育館でやっているはず。そのときの対応の仕方で行き違いがあったのかと思うので、指定管理者にきちんと伝えます。
6月28日 いきいき文化・ふれあいトーク 10名参加（中央公民館）		
【文化公演について】		
	・元気がない時代だが、なにか明るいことないか考えている。文化協会の事業として、文化公演をやりたいと検討したが、文化公演の補助とかお願いできるのか。	・文化協会ですら独自に主催してやりたいということであれば、年度途中では難しいが、予算時期の前に言ってもらえれば検討はできる。 ・ただ、予算が相当高いものは、無理なものもある。 ・いいものと呼ぶには、早めはやめに標準をあてないと難しい。

21	<p>・どんな内容がいいかについては、町の中で検討委員会のようなのを作って、みんなの意見聞いて、それを反映して決めればと思う。 苫前は「舞台鑑賞友の会」があり、そこで何を呼ぶかを検討している。 羽幌でもできないのかなと思った。</p>	<p>・苫前にも小平にもそういう団体がある。 ・なにを呼ぶのかは、年配と若者で温度差もあるのでなかなか難しい。なにか民間のものがあって声が聞ければいい。 ・文化と芸能・娯楽との関係もある。楽しいものを呼べばいいが、やはり町としては文化が中心となる。たくさんの人に来てもらえるような内容がいいが難しい。</p>
	<p>・高額になるものは苫前、初山別と広域でやることも可能と思う。バスを出したりしてとかもできるし。</p>	<p>・文化的なもので、広域でやることは今までになかった。3町村で一緒に3年後にできるかもしれないとか、2回公演やろうとか、本当にやりたいものあれば考え方はあると思う。</p>
22	<p>・文化ではないが、幸町の公営住宅 ・昨年は完成後の入居は12月27日になった。できれば12月の10日か20日ころには入居したい。引き渡しの関係でどうしても25日以降になるという。今年はもう少し早まると聞いたが、できれば毎年早めの入居を考えてほしい。</p>	<p>・工事の発注が早くできればいいが、国の交付金を受けている事業なので、国の交付決定のスケジュールによって決まるもどかさがある。 ・工期は実際には11月でもその後、手直しや検定、事務手続きでどうしても12月はじめまでかかる。今年は、去年より早めにはなっているが、少しでも早めになるよう努力したい。</p>
23	<p>【羽幌出身の文化人の常設展示】 ・公民館は文化の殿堂。しかし実には殺風景。 羽幌出身の文化人、たとえば書の中野北溟さんや、漫画の椎名軽穂さんとかの常設展示施設を設けてはどうか。 羽幌でも、公民館の中に展示する動きがあって、話は進んでいると聞いているが、ぜひ、形にしていきたい。</p>	<p>・今回は中野さんについて話が進んでいる。 ・こういう話は、今に限らず過去にもあった。が、本人の一存に寄らない部分も多いので、非常に難しい。 ・まるっきりだめではないと思うが、条件にもよるでしょうし。チャンスがあれば、われわれも常設展示など、考えたいし、機会があれば条件なども聞いていきたい。</p>
24	<p>・古生物研究会は平成21年で結成30周年になるが、昨年まで2年間羽幌高校にいた先生が30周年記念に羽幌のアンモナイトの写真集を出した。会ではコピーでもと考えていたところ、自費出版することとなった。 ・羽幌はその分野では有名で、夏休みなどは化石を研究している学生や学者が多数きているほど。 ・古生物研究会は現在会員7名になって大変なところ、協力があり出版となった。羽幌の自然遺産なので、町としても何冊か買い上げていただいて、関係者が来たら紹介してほしいがどうか。</p> <p>・古生物研究会が高齢になって亡くなった方もいる。ご遺族が興味なければ、そのアンモナイトの残し方も問題となる。協賛事業としてでもなにか考えたいが、町としてのお力もお借りしたいと何が得るが、その際はよろしく願いたい。</p>	<p>・羽幌のアンモナイトは有名だから、不可能な話ではないと思う。 ・公民館図書室でも購入を考えていたところです。 (※公民館図書室で5冊購入)</p>
25	<p>・よその町に羽幌のアンモナイトや化石が展示してあるのに、どうして羽幌にアンモナイトの施設ないのかと思う。</p> <p>・他の町から来た人にわかりづらいとか、もう少しPRしたほうがいいと言われるので考えてほしい。</p>	<p>・羽幌の資料館の2階に展示している。 裁判所の跡を資料館として活用し、古いもの、炭碛資料や昔のものがあるが、さまざまな古い資料をデジタル化して保存することをあちこちでやりだしている。施設を建てるとかは大掛かりでなかなかできることではないが、資料の保管の仕方考えるのもひとつと思ふ。 ・あちこちに古い施設はたくさんある。 ・新しいものを建てればよいかもかもしれないが、次の世代に大きな借金をしないようにしなくてはならない。どういう方法がいいのかは文化協会会のみなさんにも意見を聞かなくてはならないと思っている。</p>
26	<p>・文化連盟とサークル連絡協議会がいっしょになって10年経つが、どこの団体も高齢化している。なにか活動するにしても本当に大変になっている。今39団体あるが、新しい団体作ってもいいし、ぜひ文化協会に入って活動できないものか、積極的に加入するよう誘導できないものかでしょうか。</p> <p>・文化は癒しの場でありストレス発散にもなる。なにか自分のやりたいことをみつけるような、各人のそういう部分をめざまさせてほしい。 ・好きなことをやって生きがいを見つけ、仲間づくりをすればいろいろなことを乗り越えられるし、医療費の軽減にも通じます。 ひつじ工房、今年で18年になるが、私達の代で終わるのもったいない。なんとか次の世代に残したいが、若い人なかなか入ってくれない。新しいことを考えたりしてなんとかがんばりたいと思っている。</p>	<p>個人的には文化活動やっている人いるかもしれないが、会に入っていない人も多い。言うことはできるが強制はできない。文化的な方向にも目を向けてということですね。</p> <p>・高齢化していく中で、町全体の動きがどこか鈍くなっていると思う。文化を引き継いでいく、町のものを守っていくことも大切。文化は町の元気の源となる。文化へ目を向けていくこともしていきたい。</p>

1	<p>・小学校で授業についていけない子どものために補習授業のようなことはできないのか。そのために先生に特別な手当など出すとか、違う先生をおくとか、そういうシステムがあればいいと思う。</p>	<p>・夏休みや冬休みとかには時間をとって授業に代えた場をもっている。学校も今ゆとり教育からの脱却の中で、年間の授業時間数が増える中苦勞されている。学校へは話はするが、先生達もやりたいという気持ちはありつつ現実にはなかなか難しいことをご理解願いたい。</p>
2	<p>・先生達も努力してくれているが、町に住んでいない先生が多いので、補習とかに関わらない先生が多いのでは。もっと子どもたちと、地域や親たちとふれあうことができる場があればいいと思う。</p>	<p>・昔は確かにみんな地元に住んでいたが、今はそうではない。地域に根をおろして、地域とコミュニケーションをという希望はあるが、住むところを強制することはできない。もっと子どもや地域とふれあうように、そういう気運を高めていければと思う。</p>
3	<p>・発達支援センター「にじいろ」の先生は嘱託職員が多いと聞いた。今はどうなっているのか？重い仕事なので、ずっと続けられるよう正職員にならないのか。</p>	<p>・職員は嘱託職員だが、今回臨床心理士を採用した。職員である保健師も関わってる。3町村の運営なので正職員はなかなか難しい。</p> <p>役場のほかの係でも臨時職員は増えている。正職員に採用しないだめといわれる分野もある。何が一番町民の負担にならない方向なのか、行政改革などの取り組みの中で、町全体で検討し、判断している。</p>
4	<p>・発達支援センター「にじいろ」、健康センターから分かれて町の中にできたことが、そこに行くことで後ろ指さされる状況があるのでは。理解しないまま行かせられたりしていないか。もっと子育て全般をなんでも相談できる場、以前は健康センターだったと思うが、もっとアピールしてもいいのでは。</p>	<p>・子育て全般の相談は今も健康センターで受け付けている。分かれたのは、商工会移転の経緯の中で。福祉課から個別指導の場所が必要ということで「にじいろ」の独立要望があった。現場の声を聞き、移転が決まった。</p> <p>子育ての悩みにはいろいろなパターンがある。いろいろな悩みの場面を保健師がいちはやく見抜いて相談役になっているはず。その先のひとつが「にじいろ」と思う。保護者の方とコミュニケーションをとった中で対応を進めており、一方的に行きなさいとはならない。</p> <p>「にじいろ」だから、いろいろな色がある。一つの色にこだわらない感覚で、いく行かないは自由。固定概念をもってみるのではなく、いろいろな色があると思ってほしい。</p>
5	<p>・羽幌高校PTAで、昨年、町長に四点の要望をした。小中高全体の要望、将来の羽幌町に向けた要望と受け止めてほしい。</p> <p>①町外生へのバス通学費補助 ②町のバスの部活動での使用 ③部活動遠征補助の増額 ④各種検定の補助の継続。</p> <p>④は、個人からの寄付によって成り立っていたが、4年間の期間が来年度で終わる。ぜひ継続してほしい。</p> <p>昨年の要望の後、部活動遠征は増額いただいたが、羽幌高校の部活動加入率は95%。部活動に入っているためにたいへんお金がかかる。来年度PTA会費を上げることにしたが、法外には上げられないので、ぜひ町にも補助をお願いしたい。④はとくにお願したい。</p> <p>・入学者が40人を切ると一間口減るので昨年一生懸命になった。結果、50人で2間口でした。今後も、小学校の卒業人数を考えるとまた厳しい状況がくる。羽幌高校の2間口を守るために、他から一人でも多くの生徒に来てもらうために、今から行動しておかないといけないと思う。</p> <p>高校、PTA、町の三位一体となった取り組みとしたいのでぜひお願いしたい。</p>	<p>・発達支援センターの先生たちの希望もあり、町全体の福祉向上のために必要と判断して、臨床心理士を採用した。自治体独自で臨床心理士の採用はめずらしいし、北海道でも羽幌町1箇所だけではないかと思う。一方で臨時職員が多いと言われる中、専門性のある職員もこのように採用している。</p> <p>・すべてはお金のことだが、羽幌高校の二間口維持のためになんとかできることはやっていきたい。</p> <p>町外生へのバス費用の補助は、町外から来る生徒だけでなく、町外へ行く生徒に対しても補助しなくてはならなくなるのでむずかしい。現金補助の方向は活かされているかどうか一番わかりづらいのでむずかしいと思う。引き続き検討していきたい。</p>

10月10日 いきいきはぼろ・ふれあいトーク 17名参加

1	<p>・栄町南団地の2階建ての水洗化工事、今年度中に予定されているが、暖かいうちに工事が終わるように、早急に工事を進めてもらいたい。 町から説明があり、各世帯の支障となる下屋などを撤去したが、まだ工事が始まらない。工事期間はトイレが使えないので、近所の人をお願いしてということだが、高齢者や赤ん坊のいる世帯は大変。夜間や、寒い時期に入ると大変です。</p>	<p>・支障物件の撤去費用は町負担で、再度の設置は個人負担でということで協力いただいている。 工事期間中の仮設トイレなども検討して、工事業者が決まったら支障のないように対応したい。工期は余裕をもっているが実際の工事は短期間で終わる。</p>
2	<p>・新フェリーターミナルの駐車場はどれくらいなのか。 アクセス道路はどうなるのか？</p>	<p>・埠頭の駐車場は140、漁協前に25。一番混む時期で200台くらいということなので、それで足りないようであれば、舗装はしていないが、漁協裏の町有地に対応と考えている。 アクセス道路は、国道の旧AUのところから入り、2条道路を曲がって北に入るかたちになる。</p>
	<p>・2条通りは狭いので、観光バスや大型が入るのには支障あるのでは？</p>	<p>・固定して考えられているが、これから保育所前の道路の路盤整備などして、分散型で、併用できる道路をいろいろと通れるようにしようとしている。 2条通りは、路盤が弱いなどとされていたが、今一部改良をしているので、そこも含めて、固定したルートではなく、いろいろな道を通れるようにしていこうと、観光関係者、漁業、港湾関係者と協議を進めているところです。</p>
	<p>・1条通りは使えないのか？</p>	<p>・漁業者がいろいろな作業している中で、あのままで通すことにはならない。 ・一番わかりやすいのは、国道を曲がって、まっすぐ港までくる道だが、道幅の問題もある。また、橋が太鼓橋のため、左折が難しいと交通安全上言われている。 ホテルからの散策路という構想も課題となっており、いろいろな道があるなかで、考えられる一番いいものをつくろうとしている。</p>
3	<p>・下水道は本当に戸別訪問するのか？経済的な問題もある人が個別に訪問されても困るのでは？ ・汲み取りについて、以前に聞いたときは、それなりにやると言っていた。なくはならないと言っていた。</p>	<p>・未接続世帯約1800世帯について、10月後半から3週間くらいかけてまわる予定。 それぞれの事情があるので強制はできないが、いろいろお聞きしながら、説得ではなく、説明とお願いにまわりたい。 今のし尿汲み取り施設では処理ができなくなるという問題もある。 ・汲み取りはなくせないが、現在のし尿処理施設は使えなくなるので、その前に、下水とし尿をミックス処理できる施設を作るように進めている。 新たな施設のために補助や交付金を国からいただくために、接続率を上げて条件を揃えようとしているところ。 ミックス事業は3町村の事業。補助採択要件は羽幌町の行政人口に苦前と初山別の下水未接続の世帯を加えた数値を分母として羽幌町下水道接続世帯を分子とした数値で算定して50%に達しないとしない。羽幌町の計画区域の接続率は52.5%だが、これは分母が羽幌町の計画区域の人口。ミックスの要件で計算すると分母がちがうので、20%くらい下がることになる。 補助をもらえなくても作るしかないが、努力している。</p>
4	<p>・集会所のトイレは水洗化の計画はあるのか？</p>	<p>・計画区域内では順次水洗化していく計画はある。</p>
5	<p>・幸町の街路樹。はまなすなどトゲのある街路樹は撤去してほしい。 昨年街路樹の植樹マスのアンケートをとっていたが、どうなったのか。管理がきちんとされていないで付近のものは迷惑している。年に1回でも2回でもちゃんとすればいいが、、、</p>	<p>・管理がきちんとされていないなら、ないほうがいいのかということだろうが、街路樹を大事にという声もある。 アンケートは、町の中の街路樹や植樹マス全体をどうしていくかプランをつくるためのもの。今、まとめているはずだが、担当に話し、現場も見ながら対応を考えたい。</p>

6	<p>・6月くらいからキャンピングカーが道の駅やスポーツ公園にたくさん来ている。トイレの水で車を洗ったりしているが、そのままでもいいのか？</p>	<p>・洗車や洗濯はマナーの問題と思う。できないような雰囲気づくりが必要と思うので、看板などでできないよう啓発していきたい。 ※10月16日、啓発看板設置済)</p>
7	<p>・冬の除雪、もう少し早くならないのか。直営のときのほうが早かった。</p>	<p>・委託から3年目となる。いろいろ苦情がある中、委託業者と話し合い改善している。町内で時間差があるのはご理解いただきたいが、シーズン前にもう少し綿密な打ち合わせの上で進めていきたい。</p>
8	<p>・新聞にのっていた「ニシン街道」の標柱はもう立てたのか。稚内まで、各町村単位でやると聞いている。羽幌は昭和20年代はニシン漁が盛んだったんだから、羽幌だってニシン街道と思う。</p>	<p>・詳細がわからないので、調べます。</p> <p>※松前・上ノ国・江差3町広域観光推進協議会「北海道歴史倶楽部」が呼びかけている事業。日本海沿岸の各市町村が連携し、松前から稚内までの約700kmをニシン街道として観光資源化し、日本海沿岸部の活性化を図ることを目的としたもの。各地域で「にしん街道」の標柱設置の事業展開を呼びかけている。 ※羽幌町では、平成23年度に設置を検討し、25年度団体からの寄贈を受けるかたちでの設置を予定。設置場所については検討中と、後日確認。</p>
<p>11月12日 農業・漁業・商工業いきいき・ふれあいトーク 15名参加（中央公民館）</p>		
1	<p>・新しいフェリーへ向う道。 観光客などは、カーナビの古い情報などから旧フェリーターミナルに向ってしまうことが想定される。旧フェリー前から今の漁協のところを通過して、港の中を抜けて新フェリーに行くことが想定される。浜で作業している横を通られるのは危険。支障ないのか。</p>	<p>・基本的には、漁港区の作業の支障になるような通させ方はしない。漁港区に入ってからUターンさせるのではなく、漁港区を通させないようなルートを来春までに考えることになる。カーナビが古い場合だけでなく、カーナビが新しい情報を認知するには時間がかかるので、その間も必要となる。スムーズに進行できるように道順を示し、道案内を考えます。</p>
2	<p>・福寿川の河川敷に船外機がついている。何回か修復しているが、すぐに壊れるので、早急に改修工事をすすめてほしい。</p> <p>・漁港内のエプロンに鉄板敷いているが、夜間の作業などでつまづいて怪我をする危険がある。そこもきちんとなおしてほしい。</p>	<p>・福寿側の河川敷の使用は、もともとは漁港区に在るべきところを、工事の間だけ一時的に使用しているもの。河川の敷地なので、固定的なものは作れない。壊れたところは、これまでも修復してしたが、担当課で現地を見に行き対応を考えたいと思います。</p> <p>・新しい中央埠頭ができることで、フェリーが移動し、大型船が今のフェリーのところに移るので、今の漁港区に少しゆとりができて、重複して泊まることもなくなり、他からの船も泊まれるようになる。港の工事は、そういうシフト替えなのです。漁港区は大変老朽化している。港は、来年度、目標としている形にはなるが、あわせて、直していかななくてはならないところもある。新しいところできて終わりではなく、大きな計画の中のひとつとして物事を進めている。港湾審議会などでも論議して計画をたて、順序良く直していくこと</p> <p>・今、港はどんどん工事が進んでいます。中央埠頭が出来上がって、来年度4月にフェリーターミナルや漁協施設が整備されると、34、5年かけてやってきたことが完成します。お天気の日にはぜひ、いけるところまで行って新しい姿を見ていただきたい。</p>
3	<p>ハートタウン。スーパーがなくなって、町の中の流れがすごく変わった。お天気も悪く人が通らないと、地元の商店としてはすごく不安になってくる。</p> <p>・ハートタウンのスーパーがなくなって、バスに乗っている人がお弁当が買えなくて、大変に不便になったと思う。そこで「ほっとサロンの活用」の仕方が課題になると思う。買い物も郊外型になっているが、もっと羽幌の商店が潤うようになるといい。</p> <p>・高齢者は歩くのが大変で、買い物にタクシーを利用したりして大変。</p> <p>・高齢化が進んでいるのに、朝日団地、なぜあんなところに建てたのか。買い物にもどこに行くのも不便。結局、買い物も通販や町外の宅配の利用者が増え、益々羽幌町の購買力が下がる。</p>	<p>・企業も今、厳しい時代となっている。行政としては、一業者にお願いで来てもらうことはできないが、企業誘致ということから行政も一緒にやっついていかなくてはならないと思って動いている。いろいろと一生懸命取り組んでいる。</p> <p>・社会情勢の変化により、テナント料は7年前に建てた当時とは比べ世間の相場が下がっており、今のテナント料では厳しいということがある。町としていろいろな支援をしながらでないといけないと思いますが、規模の大きいテナントに入ってきてもらえるよう努力しているところです。</p>

4	<p>甘エビまつり、リニューアルしてどんどん大きくなったが、ボランティアの数が足りない。ボランティアを補うために町の一大イベントに役場職員がお手伝いに出ることできないのか。</p>	<p>・町職員は、今年も30人くらいボランティアで出ている。ゴミ処理や駐車場整理、誘導など、裏方として手伝っている。30人出ていても、出てないと見られるほど、全体で大変な状態になっている。</p> <p>・ボランティアは、開催1ヶ月前に町内で一般募集してもなかなか出てきづらい。観光協会や各団体で、「羽幌を代表するお祭りなんだから、みんなで盛り上げよう、ボランティアをうちの団体からは何人出しましょう」と、冬のうちから事前に連絡、話しあうことが大切ではないでしょうか。</p>
	<p>エビが目的で来ても、エビが買えなくては、もう来なくなるのでは？</p> <hr/> <p>・消費者は5トンとか8トンと言われてもわからない。何キロ入りで何箱って言ったほうがわかるのでは。</p>	<p>・今年、初日は買えない人がいて、町内の店を紹介したが、2日目はちょうどだった。</p>
5	<p>・甘エビまつりに焼尻めん羊を買えない人がいるそうですが頭数を増やせないの？</p>	<p>・6、7月はちょうどおいしい時期で、全国のフレンチレストランなどからの需要が多く、翌週にめん羊まつりもある中、甘エビまつりに今以上出すのは難しい。売る頭数が限られている上、肉にする作業もあり大変なので一度に大量に出せない。</p>
6	<p>・めん羊牧場の規模を大きくして飼育数多くできないの？</p>	<p>・コストの問題がある。赤字の中、悩みながらやっている。経費もかかるから高いが、どうやったらみなさんの口に入るか、考えながらやっています。値段もだいぶ安くなっているので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>・町内の方々には町民還元でも販売しています。焼尻のめん羊は高くても売れるのですから評判がいいのは間違いありません。三國シェフも一生懸命力を入れて売り込んでくれています。</p>
7	<p>・後継者の花嫁対策を、ぜひ実行していただきたい。</p>	<p>・昨年度は農業後継者対策として検討したが、農業だけではないのではと実現に至らなかった経緯がある。今年度は農業だけでなく具体的に検討したい。青年部なども打ち合わせしながら進めていきたい。女性ならではのアイデアなどもあれば提案いただきたい。</p> <p>花嫁対策は農業だけの問題ではなく、全般の問題。人口も増えるし、町が元気になる。</p>
8	<p>・新しいフェリーターミナルにAEDは配置されるのか？</p>	<p>・確認してみます。たくさんの方が出入りする場所なので大切なことです。</p>